

平成 28 年度「ネット・ゼロ・エネルギー実証事業 (ZEB) 交付決定事業者

特別養護老人ホーム瀬戸の里 増加改築工事に決定

ZEBランク ZEB・Ready

「ZEB (ゼブ:ゼロ・エネルギー・ビル)」とは、建物のエネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーの利用をとおして削減し、限りなくゼロにするという考え方です。

地球温暖化の今、現在考えられる技術の粋最大限活用し環境に優しい施設が生まれます。生活する高齢者・働く職員も、技術の力で我慢せず快適な生活を実感できる環境を提供する目的で国が推奨している事業です。実際には通常の省エネ建物よりエネルギー消費を50%に以下にします。今年度は全国で老人ホーム・病院・ホテル及び事務所など20か所、岐阜県では唯一瀬戸の里が実証事業者に選定されました。

主なシステム

高断熱 (外断熱) LOW-複層ガラス (真空)

高効率空調 EHP 全熱交換器 [バイパス制御]

LED照明 (調光・タイムスケジュール制御)

ハイブリット給湯 (太陽熱 + HP 給湯) 太陽光発電他